

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎附属治療所
担 当 教 員	河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床現場における柔道整復師の役割、医療面接から施術までの知識と技術を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
1.レポート(20%) 2.授業態度と参加度(80%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版						
《授業外における学習方法》						
シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場における柔道整復師の役割を認識し、医療面接から施術までの知識と技術を習得すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習の目的・目標の概説説明 身だしなみについて	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師としての倫理を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師としての倫理-1			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師としての倫理を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師としての倫理-2			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者との接し方を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者との接し方-1			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者との接し方を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者との接し方-2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者との接し方を理解する(3)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	患者との接し方-3		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術録の作成を実施し内容を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	施術録の作成-1		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術録の作成を実施し内容を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	施術録の作成-2		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術録の作成を実施し内容を理解する(3)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	施術録の作成-3		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	医学的な清潔の概念と清潔保持の重要性について理解できる	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	施術所の衛生環境		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術所の現状について学ぶ(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	業界、施術所の現状-1		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術所の現状について学ぶ(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	業界、施術所の現状-2		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療事故・過誤の防止を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	医療事故・過誤の防止-1		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療事故・過誤の防止を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	医療事故・過誤の防止-2		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	患者の状況の的確な把握・鑑別-1		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎附属治療所
担 当 教 員	河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床現場における柔道整復師の役割、医療面接から施術までの知識と技術を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
1.レポート(20%) 2.授業態度と参加度(80%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版						
《授業外における学習方法》						
シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習は実際の患者さんを想定して、卒業後の臨床現場で必要となる知識を付けることを目標としています。実習時間内では不明な点があれば、時間外でも質問を受け付けます。自分で臨床現場に立つことを想定して実習に臨んでいただき、不明な点や自分に足りない知識をぜひ見つけて質問して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者の状況の的確な把握・鑑別-2			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(3)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者の状況の的確な把握・鑑別-3			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の誘導を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者の誘導-1			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の誘導を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	患者の誘導-2			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	接骨院業務を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	附属治療所補助-1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	接骨院業務を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	附属治療所補助-2		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	接骨院業務を理解する(3)	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	附属治療所補助-3		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	振り返り気づきを得る	柔道整復学 理論編 改訂第7版 実技編 改訂第2版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	附属治療所実習振り返り		
第24回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			